

## 三原市立第二中学校 第二学年 国語科学習指導案

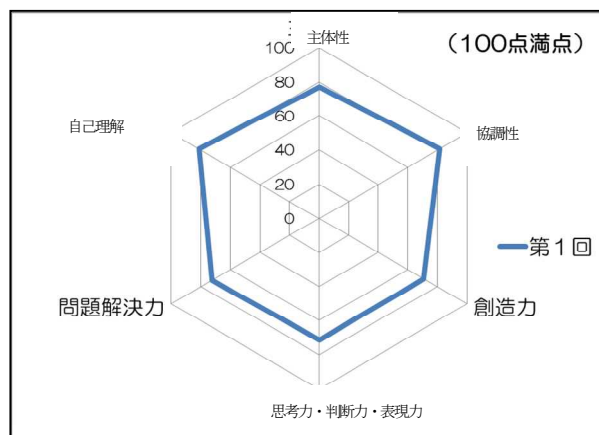
単元名： ことばを磨く～「短歌の世界/短歌十首」俵 万智ほか～

本単元で育成する資質・能力：思考力・判断力・表現力

- 1 日 時 : 平成29年6月22日(木) 第2校時  
 2 学年・学級 : 第2学年2組(男子19名 女子20名 計39名)  
 3 単元名 : ことばを磨く～「短歌の世界/短歌十首」俵 万智ほか～  
 4 単元について

### (1) 生徒観

本学級の学習者は、右のグラフによれば主体性・自己理解と協調性の項の達成率はほぼ8割であるが、創造力と思考力・判断力・表現力および問題解決力の項で8割をやや下回っている。そこで、学習者が主体的に学習課題に取り組み課題発見・解決を行いながら思考し創造表現につなぐ力を育成していきたい。



### (2) 単元観

本単元は、使用教科書(三省堂『現代の国語2』2016年版)の第2単元「ことばを磨く」である。本単元の構成は、次の通り。

読むこと	短歌 解説	短歌の世界/短歌十首 俵 万智ほか
書くこと	創作文	読みたいくなるしくみを工夫する
読書	講演録	見えないチカラとキセキ 浦田 理恵・竹内 由美
言語	文法のまど1	用言の活用

本単元では、ことばを磨くために、導入として「短歌の世界/短歌十首」を学習する。三十一音という短い詩である短歌は、その一語一語が作者によって吟味されたことばである。五七五七七の定型がもつリズムや文語体・口語体の表現の特徴などを学ぶことを通して豊かな言語感覚を育てたい。その上で、「創作文」につなげ、短歌で学んだ言語感覚を生かしていく。まとめとして、講演録「見えないチカラとキセキ」を学習し、ことばを用いて伝え合うことを考え深める構成になっている。

本単元を通して、文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、表現について理解し、言語活動を通して体験的にことばを磨くことができると考える。

### (3) 指導観

本教材は、使用教科書の第2単元の中の「読むこと」の第一教材である。使用教科書における「読むこと」(文学的文章)の配列では〈詩「名づけられた葉」〉〈小説「小さな手袋」〉に次ぐ第3教材となっている。これは、構成や展開、表現の仕方について理解し、多角的な視点に立ってまとめていく力を育成していくよう構成されているととらえている。

既習事項として、1学期に〈詩「名づけられた葉」〉では表現技法や主題を読み、〈小説「小さな手袋」〉では象徴の意味等について読み深めている。その上で、本教材では音読を通して短歌のリズムをとらえ、表現方法の特徴を理解させていきたい。そして、情景や心情を表すことばに注意して短歌の世界をとらえ言語感覚を磨かせた

い。

本県の推進する『広島版「学びの変革」アクション・プラン』「課題発見・解決学習」を意識し、また本校の研究テーマである「三原二中版アクティブ・ラーニング～主体的・対話的な深い学びを意識した授業づくり」との関連を図り、本単元では課題発見・解決学習の一連の学習過程をとるものとする。

単元を通して付けるべき言語能力は、ことばを磨くために情報を集め効果的に活用する能力とする。

学習者に発見させたい学習内容としては、国語科の指導目標との関連を図り「情景や心情を表す語句に注意して短歌の世界を読み味わう」こととする。そのための導入の工夫として、第0次を置き短歌の世界を映像にして触れさせ、イメージ化してとらえさせることで興味・関心を高めさせたい。

第一次では、「短歌の世界」において俵万智の解説をもとに短歌を読み解くための学習課題「短歌を読み解くパスワードは？」を設定する。ここで、俵万智は自作の短歌と栗木京子の短歌の解説を行っているが、この解説文から短歌を読み解くキーワードである、情景と心情、対比や反復法等の表現技法、句切れ、定型のリズム等を読み解くことができる。短歌の作り手が、読者に汲み取ってもらいたい思いを解説していることで、学習者は短歌の奥深い世界に触れる導入として理解を深めることができるだろう。

第二次では、第一次で発見した短歌の読み深めをもとに「短歌十首」を指導する。ここでは、単元を通して付けるべき言語能力の効果的な育成のため「短歌の研究会を開こう」を設定する。具体的には、少人数の学習班ごとに課題意識をもとに1首ずつ選択させ、必修短歌とする。次に、個人での課題意識をもとに1首気に入った短歌を選択させ選択短歌とする。必修短歌については、作者や場面設定や心情等を追究して読み深めた内容をフリップにしてスライドショー風に発表させる。選択短歌については、個人でその短歌の良さを追究してヒントカードとして他グループに情報提供させる。こうすることで、協働的多面的に作品を読み深めることができるだろう。

そして、作成フリップの中に選択した短歌を現代詩に書き換え、創作文として聞き手に具体的にイメージ化させるものを1つ入れておくよう指導する。本学習者は、本教材での学習の前に〈詩「名づけられた葉」〉を指導していることから、既習事項との関連を図りことばを磨くために、短歌を現代詩の創作文につくりかえ学習目標を達成させたい。なお、フリップ作成の手順や発表方法等については、活動場面に応じて「学習の手びき」を作成し学習者を導くものとする。

このように短歌の読み方を学んだ上で、本歌取りの手法を生かして短歌づくりにつなげ、まとめとしたい。

## 5 単元の目標

- 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に表現する能力を身に付けさせる。

【学習指導要領 第2学年 目標1(3)】

## 6 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は次の6点。(分類は県の方針による)

〈スキル〉①創造力 ②課題発見・解決力 ③思考力・判断力・表現力

〈意欲・態度〉④主体性 ⑤協調性

〈価値観・倫理観〉⑥自己理解

上記の資質・能力のうち、本教材では学習指導要領の目標との関連を図り次の能力の育成に焦点化させる。

〈スキル〉創造力 〈意欲・態度〉主体性 〈価値観・倫理観〉自己理解

焦点化の理由は、次の通り。

〈スキル〉 内容や表現の仕方に注意して読んだことを生かして創造的に表現しようとする。

〈意欲・態度〉 広い範囲から主体的に情報を集めようとする。

〈価値観・倫理観〉 集めた情報を活用して自分の考えを確かなものにしようとする。

## 7 単元の評価規準および本教材で育成したい資質・能力の評価基準

国語への関心・意欲・態度 〈主体性〉		読む能力 〈自己理解〉	書く能力 〈創造力〉
① 文章に関心を持ち積極的に読もうとしている。		① 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句に注意して読んでいる。 C (1) ア ② 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめている。C (1) オ	① 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書いている。B (1) ウ ② 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。 B (1) オ
判断基準	A	文章に関心を持って考えながら積極的に読んでいる。	ことばに注意して読み、多様な情報と自分の考えと比べながら内容を理解している。
	B	文章に関心を持って読んでいる。	ことばに注意して読み、自分の考えをまとめている。
	C	文章に関心を持たず読もうともしない。	ことばに注意して読まず、不十分な理解で済ませている。
			相手意識をもって、創造したことを具体例等を加え描写を工夫してわかりやすく伝えている。
			自分の考えを広げ、創造したことを表現している。
			自分の考えにこだわり、創造したことの表現も不十分である。

## 8 指導と評価の計画 (全6時間) (本時は5/6)

時	学習内容	評 価			資質・能力の評価 (評価方法)
		関	読	書	
一次 1	<b>課題の設定</b> ・到達目標の提示 ・「創作文」参考例提示。	○			・自ら課題を発見し、意欲を持とうとしている。関 ・到達目標を理解する。関 行動観察
	<b>情報の収集</b>				・抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句に注意して読もうとしている。 行動観察 ノートの記述

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題「短歌を読み解くパスワードは？」の提示</li> </ul>	○	C (1) ア	振り返り
二 次 1	<p><b>情報の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで短歌を一首選択し、作者や歌の背景を探究する。</li> <li>①グループ選択を必修短歌・個人選択を選択短歌とする。</li> <li>②選択短歌の探究成果物は必修短歌グループに情報提供する。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめようとしている。C (1) オ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>ノートの記述</li> <li>振り返り</li> </ul>
2	<p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料を集めながら自分の考えをフリップにまとめる。</li> </ul> <p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作文を作成する。</li> <li>①選択短歌の創作文を各自作成し、必修短歌グループに情報提供する。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書こうとしている。B (1) ウ</li> <li>・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように描写を工夫して書こうとしている。B (1) ウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>作品</li> </ul>
3	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修短歌の研究発表会を開く。</li> <li>・短歌作り(本歌取り)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げようとしている。B (1) オ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>作品</li> </ul>
4	<p><b>ふりかえり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りと自己評価。</li> <li>・ポストテスト</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌に関心を持ち、積極的に読み深めようとしている。</li> <li>・ことばの使い方に関心を持ち、用いることばを磨こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>自己評価</li> </ul>

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して，作品世界をとらえる。

### (2) 観点別評価規準

- ・書いた文章を互いに読み合い，文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして，自分の考えを広げようとしている。〈書くこと B (1) オ〉

評価方法：行動観察

### (3) 準備物

- ・大型テレビ ルーブリック表 手びき

### (4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (■) (配慮を要する生徒への支援◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (☆) (評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・前時の復習</li> <li>・本時の目標の把握</li> <li>・ルーブリック提示</li> </ul>	<p><b>【本時の目標】</b></p> <p>(到達目標) 短歌の作品世界をとらえる</p> <p>(活動目標) 短歌の研究発表会を開く</p>	
展開	<p><b>課題の設定</b></p> <p>学習課題</p> <p>その短歌の良さは?</p> <p>短歌十首音読</p> <p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>作成したフリップをグループごとにスライド風に発表する。</p> <p><b>ふりかえり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表後，ルーブリック表に自己評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スライドを用いて視覚的にイメージさせる。</li> <li>■リズムに注意させる。</li> <li>■初めに作者名を読み，作品をリズムよく音読させる。</li> <li>■情と景</li> <li>■技法と句切れ</li> <li>■創作詩</li> <li>◆目標達成を記入 (自己評価)</li> <li>◆他班の評価 (相互評価)</li> </ul>	<p>行動観察</p> <p>○書く能力</p> <p>☆主体性</p> <p>作品</p> <p>☆創造力</p> <p>☆自己理解</p>

まとめ	<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短歌の創作（本歌取りを生かして） 〈予想される反応〉</li> <li>どう考えたらよいかわからない。</li> <li>本歌取りの手法がわからない。</li> </ul> <p style="text-align: center;">ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆短歌作りの手びき</li> <li>■ゴールイメージを持たせる。</li> <li>■発表フリップをもとに短歌の良さを生かした表現の工夫をさせる。</li> </ul>	<p>作品</p> <p>☆創造力</p>
-----	---	--	-----------------------

### (5) 板書計画

短歌十首

目標…短歌の作品世界をとらえる

活動目標…短歌の研究発表会を開く

学習課題

「その短歌の良さは？」

\*禁ワードを使わずに短歌を作ろう

③禁ワード

シャボンま  
みれの

細胞のなか  
に

③禁ワード

白鳥は

不來方の

屑の花

列車こて

③禁ワード

優しい

美しい

急いでいる

可愛い

③禁ワード

寂しい

希望

先に行った人がいる

明るい

③禁ワード

くれなみの

その子二十

みちのくの

草わかば

③禁ワード

永遠はない

発見の驚き

短歌の研究発表会

ルーブリック表 2年( )組( )番 氏名( )

○目的：学習成果を自己評価するためのものです。レベルAを目標に頑張りましょう。

つけた いカ  カの レベル	1. 態度	2. 人の意見を聞いて考える (アクティブ)	3. 文章の構成や材料の活用 (フリップ)
		書く内容をよく考えて積極的にまとめていくことができる。	他の人の考えと自分の考えの共通点や相違点を理解しながら聞くことができる。
レベル A	見出しの効果を考え、ポイントを整理して書いた。	相手の考えも理解しながら自分の考えを確かなものにしていくことができた。	印象的な創作文を作成し、情報を整理して全体の構成を工夫して書くことができた。
レベル B	ポイントを整理して丁寧に書いた。	自分の考えをまとめることができた。	創作文を作成し、全体の構成を工夫して書くことができた。
レベル C	見出しもなく、字も乱雑に書いた。	考えの整理が不十分なままだった。	構成の工夫がなく、創作文もいい加減に書いた。

\*レベルCを1点、レベルBを2点、レベルAを3点として自己採点してみよう。

- 1 態度 ( ) 点。  
 2 アクティブ ( ) 点  
 3 創作文 ( ) 点

	/9
--	----

\*レベルCがあったら、次にはもっと努力してレベルB以上をめざそう！

身に付けた力は
---------

反省点は
------